

知る人ぞ知る! スポーツの楽しみ方

# チームの 草子ボード

取材・文/網島理友 撮影・題字・イラストレーション/綿谷 寛

## 第29回 シヤフルボードの巻 【横浜シヤフルボード協会】

### 優雅な「船上のカーリング」、シヤフルボードは大人の競技。

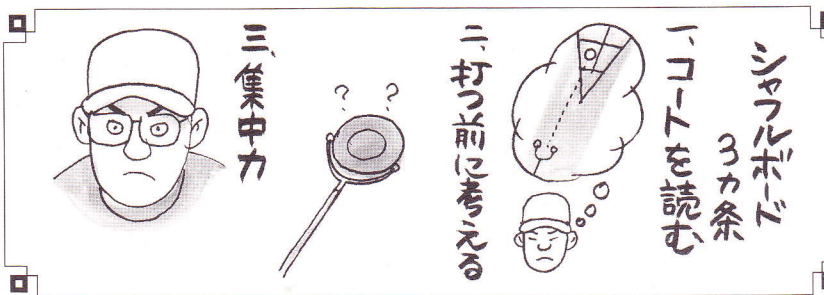
今まで絵や写真ではなんとなく見た覚えはあった。客船に関する洋書の中に、長い棒を持った人たちがゲームを楽しんでいる絵や写真があったような記憶がある。しかしいつだったかそんなゲームなのかはまったく知らなかった。

ア(スコアリングダイアグラム)に入れて、得点を競う点取りゲームだ。その起源は13世紀の英国といわれており、最初はテーブルの上でコインをはじいて遊ぶゲームだったようだ。これがある時期から屋外スポーツとなつて、クロケットやローンボウリング、カーリングなどの要素を取り入れて発展してきたといわれている。

ボクの見え方では、ゲームのスタイルとしては、ディスクの入った位置で点数が決まったり、自分の得点ディスクの手前にガードディスクを置いて、相手から防御したりするところなどは、カーリングに近いような気がした。氷の上ではなく、陸上でやるカーリング。第一印象はそんな感じだ。

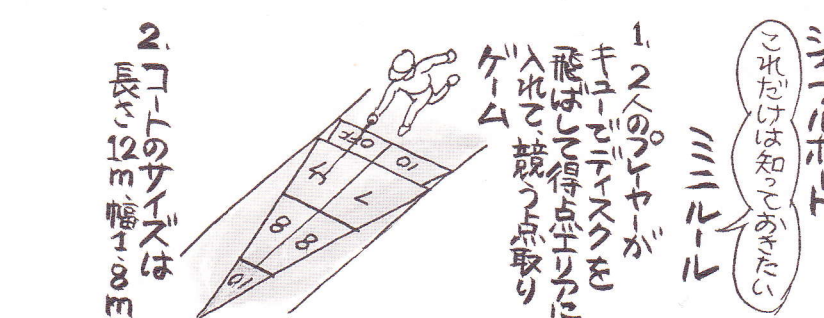
このゲームは1870年にイングランドとオーストラリアを結ぶ定期船のデッキ・スポーツとして採用され、現在も世界中の客船の甲板で行われているという。船旅の無聊を慰めるためのゲーム。なんとなく優雅な香りがする。

このスポーツが現在盛んに行われているのはアメリカとカナダで特に中高年を中心に人気が高いという。アメリカにこのゲームが上陸したのは1913年。船旅でシヤフルボードをプレーしたフロリダ州



デイトナビーチのホテルオーナーが、自分のホテルにコートを設置。やがてこのゲームはフロリダ州全域に普及して、そのあとは他の州にも広がっていった。コートは当初土で作られていたそうなのだが、やがて木製に変わり、のちに耐候性のあるコンクリート製となった。そして1929年にフロリダ・シヤフルボード協会、1931年にナショナル・シヤフルボード協会が設立され、コート、用具、ルールが統一された。

日本にシヤフルボードが入ってきたのは戦後まもなくだそう。国際基督教大学にいた宣教師が校内にコートを2面作ったのが最初といわれている。しかし当時はごく一部の人が楽しんでいただけで世の中にはまったく普及しなかつた。横浜と船旅のゲームという組み合わせはピッタリ。1989年に「横浜シヤフルボード協会」が設立され、現在、横浜市区の葛谷公園にある12面の正規のコンクリート製コートで、約80名がプレーを楽しんでいる。



「だいたい横浜に在住者で、一部、川崎、東京に住んでいる方もいます。横浜には正規コートが戸塚区の老人福祉センターに3面、西区の平沼集会所に2面、泉区の泉スポーツセンターに2面あります。横浜市の競技人口は約120名です。あと関東で正規のコートがあるところというと、東京の江東区の辰巳の森海浜公園。ココは専用のコートで12面あります」

と説明してくれるのは、メンバーの一人である藤川俊三さんだ。この日はメンバーのみなさんが、全コートを使ってプレーしていた。大盛況なのだ。

プレーしている人たちは、最齢が89歳だそう。若手は60代だという。ま、世間一般で言うところのゲートボール世代の人たちである。

それにしてもこの世代の人たちが、こんなモダンなゲームをやっていたというのはちょっと驚きだった。

いったいどういうきっかけでこのゲームと出会ったのだろうか。

「もともとは横浜市が80年代に、ニューススポーツということである。それでこのシヤフルボードを見つけてきて、各地にコートを作ったんです。ですから別に歴史的な逸話があるわけではないんです。ま、船のゲームということですが、ピットリだと考えたのだと思いますけど、歴史的に何かあるというわけではないんです。それで市や横浜シヤフルボード協会が講習会をやりました。広がっていったんですね。」

講習会は現在も1年おきくらいでやっています。ただココのメンバーは、散歩をしていてこの公園を通りかかって、みんながやっているのを見て興味を持ったとか、あるいはテレビや新聞で紹介されているのを見てとか、友人の紹介とか、いろいろなきっかけで入ってきていますね。」

横浜市にコートが集中してあるのはそういう理由だったのか。

「あとの地方は、日本レクリエーション協会つとところが、絨毯というか、カーペットみたいな取り外しのきくコートを販売しているようです。ですから他の地域でもやっているところもあるんです。」

スコアボードに名前を書くので  
相手の名前もいつの間にか  
おぼえられちゃうよ(笑)

池永	0	7	7	7	14	14	7
薩川	14	4	14	21	14	14	6
池永	34						

今日の  
対戦相手は  
池永さんかあ

メンバーの最高年齢は  
なんと89歳! 60代なんて  
まだ「まだ」若手だ。  
フォームだってキマってる!

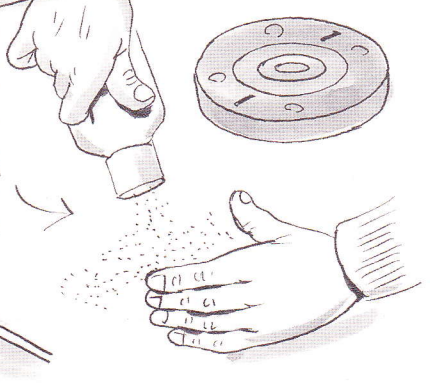
運動量が適当で  
しかも頭を使う  
スポーツなので  
老化防止に  
いいですね

横浜  
シャフルボード協会  
薩川俊三さん



船旅から生まれた  
スポーツだけあって  
どことなく優雅な  
香りがたつたよう

ワックスをかけた  
コンクリートのコート上に  
さらに砂状のビーズを  
撒く。  
ビーズがよく  
滑る滑る



黄色のキューは  
市からの貸し出し。  
黒色はマイキューだ



ただし、この前、豊橋のシャフル  
ボード協会の人々がココに来てプレ  
ーしたら、コンクリートのほうが  
ぜんぜんいいって言っていました  
滑りが違うんですよ」  
試しにキューを借りてディスク  
をシュートさせてもらったのだが  
コンクリートの上をディスクがス  
ルスルと滑っていった。力加減が  
難しい。  
それにしてもコンクリートの上  
をディスクがよく滑る。ディスク  
に車輪でもついているのかと、裏  
返してみたのだが、裏には何もな  
かった。  
「コンクリートは全面にワックス  
がかけてありまして、さらに砂状  
のビーズを撒くんですよ。ビーズ  
は粒径0.5〜0.7mmのガラス  
ビーズで、薄く撒布します。これ  
でディスクがよく滑るようになる  
んですね。ただしこのビーズはゲ  
ーム終了後には回収して洗浄、乾  
燥させて、再使用します」  
ディスクとそれをシュートする  
キューには黄色と黒色がある。  
「ゲームにはイエローとブラック  
のディスクを各4枚使います。デ  
ィスクはスコアボードを背にして、  
コートの右側の選手がイエローを、  
左側の選手はブラックをシュート  
する。ゲームが半終了すると、  
選手はコートの左右とディスクの  
色を交代、ディスクは直径約15cm  
厚さ約2.5cmのプラスチック製  
です。キューの方は全長が約19  
0cm。シャフトの材質はアルミニ  
ウム、ガラス繊維、グラファイト  
などいろいろな種類があります。  
ただキューの色については、ココ  
で使用しているのは市からの貸し  
出しがアルミニウム製の黄色で、  
グラファイト製の黒色のキューを  
持っている人たちは、全部自分の  
キューなんですよ」  
ああ、はまっていくとマイ・キ  
ューが欲しくなっていくんですね。

最後は自分の道具が欲しくなる  
というのは、どんなスポーツにも  
共通していますね。  
目の前では最高齢と聞いた89歳  
のおぼあちゃん、じつくりとコ  
ートを観察したあとに、ディス  
クをシュートした。キューの色は黄  
色だったけど、その動きは堂々  
としたものがあつた。  
「アメリカのオハイオあたりでは  
子供のトーナメントが行われてい  
るみたいなんです、盛んなのは  
カリフォルニア、フロリダあたり  
の避暑地で、やはり中高年のスポ  
ーツとして普及しているところ  
があるみたいですね。経験がものを  
いうスポーツなんですよ」

**適度な運動量があつて  
しかも頭を使うスポーツ。**



中年には最適な生涯スポーツ。しかもおしゃれな雰囲気も……。楽しそうです。

「コートのはどうやって取っ  
ていくんでしょう。」  
「コートの端の三角形の得点エリ  
アは、それぞれ10点、8点、7点  
10-0-FFという具合にエリアに  
分かれています。で、このエリア  
にディスクがラインに触れていな  
い形で入っていると得  
点になります。ただし  
10-0-FFに入つてし  
まうと10点マイナスと  
なります。ゲームはシ  
ングルとダブルスがあ  
りまして、ともに16フ  
レーム終了時点の累計  
得点の高い方が勝ちと  
なります」  
たとえば、このゲー  
ムに勝つための3か条  
となると、どんなコ  
トがありますか。  
「3か条ですか。3か  
条と言われると難しい  
んですけど……、まずは  
コートを読むですね。  
ゲームの前にブラクテ  
ィスをやつて曲がり

かスピードとかを読んでおきます。  
それから打つ前に考える。これは  
作戦ですね。どこを狙うかをしつ  
かりと考えなくてはなりません。  
そして最後はやっぱり集中力です。  
集中しないと絶対に勝てません  
からね」  
仲間と一緒に何かをやるとい  
うのは、いくつになっても大切で  
からね。  
「運動量が適当で、しかも頭を使  
うスポーツなので、老化防止には  
なるんですね。まさに生涯スポ  
ーツにピッタリだと思うんですよ」  
そうですね。  
「1対1のスポーツですけど、ス  
コアボードに名前を書いてやりま  
すから、相手の名前もいつの間  
にか覚えられます」  
それはいいですね。初めて同士  
が自己紹介し合うのは、照れくさ  
いところもあるから。初めての  
人でも入りやすい。  
「それでだんだんと慣れてきて、  
上手くなるって面白くなる」  
横浜市もなかなかいいスポーツ  
を見つけてきたものだと思う。